

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 「うなぎ」といえば「一色」地区

平成26年3月

愛知県西尾市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	西尾市		地区名	「うなぎ」といえば「一色」地区			面積	558ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	1,037.3	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(味浜一色2号線、野田松木島2号線)、公園(地域文化広場整備事業)										
		提案事業	地域安全対策事業、狭あい道路整備事業、簡易耐震改修事業、公共下水道枝線築造事業、公共下水道接続交付金事業、公共マス設置事業、地域ブランド力活用事業										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		提案事業	-		-				-				
	新たに追加した事業	基幹事業	道路(味浜一色5号線)、地域生活基盤施設(耐震性貯水槽設置事業、非常用電源施設設置事業)		まちづくり目標達成の確度を高めるため追加した				指標5「長期避難者の避難所収容率」を追加した				
		提案事業	地域創造支援事業(一色町ホール天井等補強工事)、事業活用調査(一色町ホール多機能化設計)		まちづくり目標達成の確度を高めるため追加した				指標5「長期避難者の避難所収容率」を追加した 指標6「地域交流センターの施設利用者数」を追加した				
交付期間の変更	当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	地区内人口	人	12,895	H20	12,866	H25	-	12,835	△	あり	道路や下水道整備により、一色北部地区の居住環境が向上したが、地区内人口の目標値には至らなかった。しかし、旧一色町全体に比べて地区内の人口減少率が抑制されており一定の効果を得られた	平成26年4月
											なし		
	指標2	地区内通学路の歩道設置率	%	57	H20	61	H25	-	61.1	○	あり	通学路内の歩道設置により、小学生の安全確保に貢献した	平成26年4月
											なし		
	指標3	緑の公園整備の不満足度	%	35.7	H19	23.7	H25	-	27.6	△	あり	一色地域文化広場の一部供用により、目標値には至らなかったが、市街地における緑に対する不満足度が低減し、一定の効果を得られた。公園が全面供用される平成26年度にフォローアップを実施する	平成26年7月
											なし		
	指標4	主催者として参加する市民の数	人	463	H19	613	H25	-	625	○	あり	本事業によるイベント開催により、市民の地域ブランドに対する意識向上につながり、主催者側の参加者が増加した	-
なし													
指標5	長期避難者の避難所収容率	%	65.1	H23	94.9	H25	-	98.4	○	あり	地域文化広場整備により、一色南部小学校区における長期避難者の避難所収容率が増加した	平成26年7月	
										なし			
指標6	地域交流センターの施設利用者数	人	24,346	H23	29,802	H25	-	31,497	○	あり	本事業により、地域住民の交流機能が向上し、地域交流センターの利用者数の増加した	平成26年12月	
										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	<p>・本事業により、市街地における潤いと安全・安心のある居住環境の向上が図られている。</p> <p>・イベント(うなぎまつり)の開催により、市民が中心となった各種団体による自主的な活動が展開されており、地域ブランド(うなぎ)に対する愛着醸成と意識向上につながっている。また、市外からの参加者も増加するなど、イベントに対する認識度が向上している。</p>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況						今後の対応方針等			
	モニタリング	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた									
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した									
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
住民参加プロセス	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた										
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
持続的なまちづくり体制の構築	なし		都市再生整備計画に記載し、実施できた										
			都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した										
			都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

## 様式2-2 地区の概要

### 「うなぎ」といえば「一色」地区（愛知県西尾市）都市再生整備計画事業の成果概要

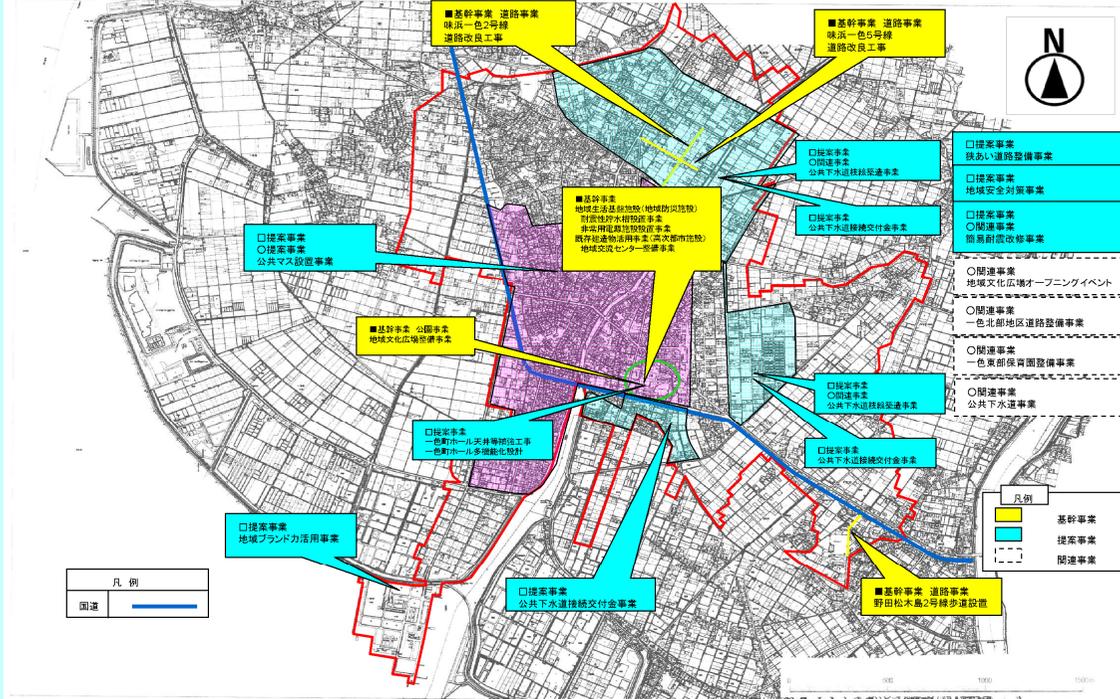
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
安全・安心で憩いの場があり、地域ブランドを活用したまちづくり ■目標1：安全・安心で良好な居住環境整備を目指す。 ■目標2：緑あふれる公園の整備を目指す。 ■目標3：市民一体となって、地域ブランドをPRし、ブランド力の向上を目指す。	地区内人口	12,895	H20	12,866	H25	12,835	H25
	地区内通学路の歩道設置率	57	H20	61	H25	61.1	H25
	緑の公園整備の不満足度	35.7	H19	23.7	H25	27.6	H25
	主催者として参加する市民の数	463	H19	613	H25	625	H25
	長期避難者の避難所収容率	65.1	H23	94.9	H25	98.4	H25
	地域交流センターの施設利用者数	24,346	H23	29,802	H25	31,497	H25



味浜一色2号線整備（道路事業）



うなぎまつり（地域ブランド活用事業）



地域文化広場整備（公園事業）



野田松木島2号線歩道設置（道路事業）

**まちの課題の変化**

- ・地区内の定住人口の維持については、本事業により一定の成果を得たが、未だ狭い道路が多く、公園の不足からも子育て世代の定住にむすびつきにくい状況にある。本地区においては事業期間中（平成24年度）に一色北部地区計画が都市計画決定するなど居住環境の改善が図られているため、これら計画と連携して今後もさらなる居住環境の向上を目指す必要がある。
- ・一色地域文化広場の整備により、市街地における防災機能の強化及び緑のある環境形成が図られた。しかしながら、今後南海トラフ巨大地震の被害想定発表を踏まえた、「防災機能」のさらなる強化が必要となる。
- ・イベントの開催により、住民の地域ブランドに対する意識向上を図り、地域主体のPR活動へと効果が波及している。

**今後のまちづくりの方策（改善策を含む）**

- ・「一色北部地区計画」と連動した道路整備により、居住環境の一層の改善を図るとともに、公園の配置について検討する。
- ・南海トラフ巨大地震対策としてハード事業・ソフト事業の両面から防災機能の向上を図る。
- ・イベントの開催をとおり、地域主体の各種団体による地域ブランドPR活動が行われているため、今後もこれら団体の活動の場としてイベントを継続的に実施していく。